

- 文化財発掘調査報告書（５）
- 20 1992 鹿児島市教育委員会『谷山弓場城跡』鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書（11）
- 21 1992 鹿児島市教育委員会『清水城跡』鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書（16）
- 22 1992 知覧町教育委員会『知覧城跡』知覧町埋蔵文化財発掘調査報告書（３）
- 23 1992 蒲生町教育委員会『蒲生城二之丸跡』蒲生町埋蔵文化財発掘調査報告書 1
- 24 1992 伊集院町教育委員会『一字治城跡』伊集院町埋蔵文化財発掘調査報告書（６）
- 25 1993 金峰町教育委員会『牟礼ヶ城跡』金峰町埋蔵文化財発掘調査報告書（４）
- 26 1993 知覧町教育委員会『南別府城跡』知覧町埋蔵文化財発掘調査報告書（４）
- 27 1993 鹿児島市教育委員会『谷山菊地城跡』鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書（17）
- 28 1994 鹿児島県立埋蔵文化財センター『本御内遺跡（舞鶴城跡）』鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（12）
- 29 1994 鹿児島市教育委員会『川上城跡』鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書（18）
- 30 1994 伊集院町教育委員会『一字治城跡』伊集院町埋蔵文化財発掘調査報告書（８）
- 31 1994 知覧町教育委員会『知覧城跡（二）』知覧町埋蔵文化財発掘調査報告書（５）
- 32 1994 串良町教育委員会『稲村城跡』串良町埋蔵文化財発掘調査報告書（４）
- 33 1994 始良町教育委員会『始良町中世城館跡』始良町文化財調査報告書（１）
- 34 1994 鹿児島県考古学会「鹿児島県の中世山城」『鹿児島考古』第28号鹿児島県考古学会
- 35 1994 宮之城町教育委員会『松尾城及び宗功寺跡（発掘調査の概報）』宮之城町埋蔵文化財発掘調査報告書（４）
- 36 1995 加世田市教育委員会『別府城跡』加世田市埋蔵文化財報告書（10）
- 37 1995 鹿児島県立埋蔵文化財センター『平松城跡』鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（13）
- 38 1995 鹿児島県立埋蔵文化財センター『本御内遺跡』鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書(14)
- 39 1995 宮之城町教育委員会『松尾城及び宗功寺跡（２）』宮之城町埋蔵文化財発掘調査報告書（５）
- 40 1997 鹿児島県立埋蔵文化財センター『本御内遺跡Ⅲ』鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（17）
- 41 1997 宮之城町教育委員会『松尾城及び宗功寺跡（３）』宮之城町埋蔵文化財発掘調査報告書（７）

- 42 1997 市来町教育委員会『鍋ヶ城跡』市来町埋蔵文化財発掘調査報告書（４）
- 43 1997 鹿屋市教育委員会『鹿屋城跡』鹿屋市埋蔵文化財発掘調査報告書（53）
- 44 1998 鹿屋市教育委員会『鹿屋城跡（Ⅱ）』鹿屋市埋蔵文化財発掘調査報告書（54）
- 45 1999 吹上町教育委員会『亀丸城跡』吹上町埋蔵文化財発掘調査報告書（13）
- 46 1999 薩摩町教育委員会『中津川城跡』薩摩町埋蔵文化財発掘調査報告書（２）
- 47 1999 出水市教育委員会『松尾城跡』出水市埋蔵文化財発掘調査報告書（10）
- 48 1999 鹿屋市教育委員会『谷平（Ⅷ）遺跡・鹿屋城跡（Ⅲ）』鹿屋市埋蔵文化財発掘調査報告書（57）
- 49 2000 鹿児島市教育委員会『鹿児島（鶴丸）城二之丸跡 G地点』鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書（28）
- 50 2000 鹿児島市教育委員会『谷山城跡E地点』鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書（31）
- 51 2000 市来町教育委員会『上城・詰城跡』市来町埋蔵文化財発掘調査報告書（７）
- 52 2000 串木野市教育委員会『串木野城跡』串木野市埋蔵文化財発掘調査（２）
- 53 2000 東郷町教育委員会『鶴ヶ岡城跡』東郷町埋蔵文化財発掘調査報告書（５）
- 54 2000 大隅町教育委員会・（財）元興寺文化財研究所『日輪城（恒吉城）跡』大隅町埋蔵文化財発掘調査報告書（20）
- 55 2001 鹿児島市教育委員会『大龍遺跡第7次・第8次』鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書（32）
- 56 2001 鹿児島市教育委員会『大龍遺跡B地点』鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書（34）
- 57 2002 始良町教育委員会『建昌城跡』始良町埋蔵文化財発掘調査報告書（８）
- 58 2002 鹿児島県立埋蔵文化財センター『松尾城跡』鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（42）

県内ではシラス採取や宅地造成、また治山工事等に伴う発掘調査が日常的に行われている。これらは小規模であったり、発掘費用の原因者負担が困難であったり、崖上や崖下のため調査が困難であったり、調査そのもの以外のことで膨大なエネルギーを費やすことが多かった。開発の把握や、開発者との調整、発掘調査の範囲等で、いわば受け身の発掘調査から踏み出そうとした取り組みに、分布調査による城域の明確化と周知化、文化財保護サイドが主体的に行う中世山城の範囲・性格の確認調査がある。前者の分布調査は始良町・鹿児島市の取り組みであり、後者の確認調査が串木野城（串木野市）・鶴ヶ岡城（東郷町）・楠川城（上屋久町）・額娃城（額娃町）・赤木名グスク（笠利町）など